

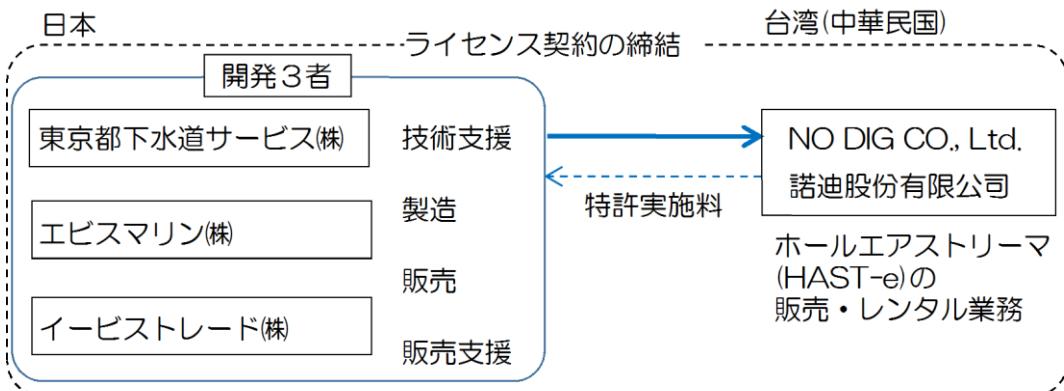
令和2年6月30日
東京都下水道サービス株式会社

ホールエアストリーマ (HAST-e) が
台湾(中華民国)企業の NO DIG 社とライセンス契約を締結しました。

このたび、東京都下水道サービス株、エビスマリン株、イービストレード株の3者が、下水道管路内作業の安全性向上を目指して開発した新しい換気システム「ホールエアストリーマ (HAST-e)」について、台湾（中華民国）企業の NO DIG 社とライセンス契約を締結しました。海外とホールエアストリーマ (HAST-e) のライセンス契約を締結するのは初めてとなり、本技術の普及拡大を図ることで、国際貢献に努めています。

1. 契約の概要

- ・契約日 : 2020年6月25日
- ・契約期間 : 契約締結日から3年間 その後1年ごとに更新
- ・契約締結者 : 東京都下水道サービス株、エビスマリン株、イービストレード株
NO DIG CO., LTD.
- ・契約内容 : 台湾（中華民国）での特許を有する日本の開発3者が、台湾（中華民国）内での HAST-e の販売・レンタル業務についてライセンスを与える契約



2. NO DIG 社について

- ・会社名 : NO DIG CO., Ltd.
- ・所在地 : Linkou District, New Taipei City, Taiwan (Republic of China)
- ・代表者 : 王 宏宇 (Hong Yu Wang)
- ・事業内容 : 水道、下水道工事 (S P R工法の施工実績)、ライフライン工事

3. ホールエアストリーマ (HAST-e) の概要

○開発経緯：

従来の送風機による換気は、送風ダクトがマンホール開口部を塞ぐため、人の昇降、機材の搬入時には送風が一時的にできなくなります。このため、有毒ガスや酸欠による事故が懸念される管きょ内作業において、安全性の確保が課題となっていました。

「ホールエアストリーマ」は、従来形式の発想を変え、マンホール開口部の空間を確保しながら送風する技術です。これより、連続的に送風しつつ、作業員の昇降や資機材の搬出入など連続した作業が可能です。

本技術は、共同開発者のエビスマリン(株)が所有する、「水質改善に活用していた水流発生技術」を、送風に応用させることが開発の出発点となりました。環境技術のベンチャー企業、総合商社とのコラボレーションにより新たな技術を創出し、ビジネスモデルを構築できた取り組み事例です。

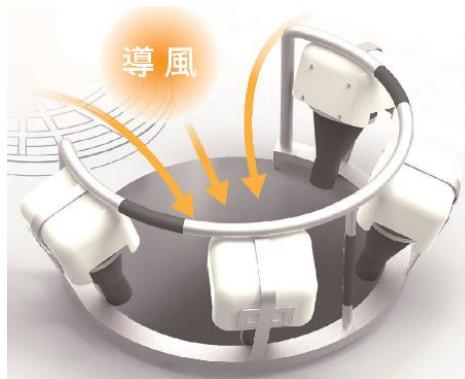
- 特 長 :
- ①マンホールを塞がずに、大量の空気を連続して送風できる
 - ②送風中でも人の昇降や資材の搬出入が容易
 - ③緊急時の避難が容易

○実 績 :

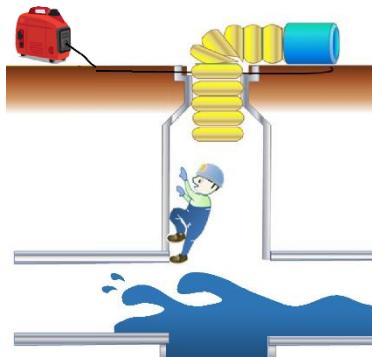
日本国内での販売実績約 300 台（令和元年度末）

平成 26 年度 建設業労働災害防止協会「懸賞基金による懸賞」最優秀作品賞

令和元年度 第 56 回下水道研究発表会 優秀発表賞



ホールエアストリーマ(HAST-e)



従来のダクト式の換気方式



ホールエアストリーマの換気方式